

府中市高齢者等の実態・意向アンケート調査 調査結果の概要

I 調査の概要

1 一般高齢者調査

① 調査の目的

市内に居住し、介護保険サービスを利用していない高齢者の意識と生活実態を把握し、サービスの潜在需要や介護予防の具体化に向けた方策を検討します。

② 調査対象

市内に居住する第1号被保険者（要支援・要介護認定者を除く） 3,000人
平成17年5月20日現在で住民基本台帳から無作為抽出

③ 調査方法

アンケート調査・郵送法（督促礼状1回送付）

④ 調査期間

平成17年6月1日～6月16日

⑤ 調査結果

回収数 2,472件（回収率 82.4%）、有効回収数 2,470件（有効回収率 82.3%）

⑥ 調査項目

大項目	ねらい	問番号	設問(案)
A 基本属性	分析の軸となる本人・家族の基本的属性をたずねる	F1～ F8	現在の居場所／記入者／性別／年齢／家族構成 (付問：同居者の年齢、配偶者の年齢) 居住地域／住宅／住宅の問題点
B 身体状況	日常生活動作をたずね、要介護高齢者の実態を把握する	問1	日常生活動作
C 健康状態・健康づくり	健康状態・健康づくりへの取り組みを探るとともに、今後必要な介護予防施策を講じるための参考とする	問2 問3 問4 問5 問6 問7 問8 問9 問10 問11 問12 問13 問14	健康状態 医療機関の受診状況（付問：医療機関数、診療科） 病歴 かかりつけ医の有無 かかりつけ歯科医の有無 かかりつけ薬局の有無 健康づくりについての意識（付問：実行していること） 咀嚼の程度 健康・福祉サービスの情報入手方法 介護予防への関心 いきいきプラザでの介護予防プログラムへの参加意向 「おたっしゃ21」の受診意向 介護予防策への要望
D 日常生活・生きがい活動	社会参加や自己実現の現状と意向を探り、今後の高齢者施策の可能性について探る	問15 問16 問17 問18 問19	外出の状況 就労状況（付問：就労形態、働きたい場所） 生活の悩みや不安 悩みの相談先 生きがい活動の現状と意向

E 保健福祉 サービス	市が行う高齢者保健福祉施策の今後のあり方について探る	問 20 問 21	高齢者保健福祉サービスの利用状況・利用意向 市が優先的に取り組むべき保健福祉サービス
F 介護保険 サービス	制度の認知度や意向をたずね、サービスの需要を探る。また、制度の改善や利用促進を図るために役立てる	問 22 問 23 問 24 問 25 問 26 問 27	保険料段階 介護保険サービスと保険料についての考え方 介護保険サービスの利用意向（付問：具体的条件） 介護保険サービスの周知状況・利用意向 介護を受けたい場所 介護保険制度の改善策
G 高齢者の権 利擁護	利用者の立場にたった施策を展開するための参考とする	問 28 問 29 問 30	権利擁護制度の周知状況 相談窓口の周知状況 周囲で困っている人の有無（付問：困っている人、事例）
H 要望	市への要望をたずねる	問 31	市への要望＜自由意見＞

2 介護保険居宅サービス利用者

① 調査の目的

介護保険居宅サービス利用者に対し、サービスの利用状況と利用意向、満足度などを探り、サービス水準の目標設定やコスト適正化を検討するための参考とします。

② 調査対象

介護保険居宅サービス利用者 2,800人

平成17年3月現在で居宅サービスを受けている方から無作為抽出

③ 調査方法

アンケート調査・郵送法（督促礼状1回送付）

④ 調査期間

平成17年6月1日～6月16日

⑤ 調査結果

回収数 2,143件（回収率 76.5%）、有効回収数 2,135件（有効回収率 76.3%）

⑥ 調査項目

大項目	ねらい	問番号	設問（案）
A 基本属性	分析の軸となる本人・家族の基本的属性をたずねる	F1～ F9	現在の居場所／記入者／性別／年齢／家族構成 （付問：同居者の年齢、配偶者の年齢） 居住地域／住宅／住宅の問題点／要介護度
B 身体状況	日常生活動作をたずね、要介護高齢者（在宅）の実態を把握する	問 1	日常生活動作
C 健康状態・ 医療の状況	健康状態・医療の状況を探り、要介護高齢者（在宅）の実態を把握する	問 2 問 3 問 4 問 5 問 6 問 7 問 8 問 9 問 10	健康状態（付問：寝たきりの期間） 健康づくりについての意識（付問：実行していること） 咀嚼の程度 口腔ケア指導の有無 医療機関の受診状況（付問：医療機関数、診療科） 病歴 かかりつけ医の有無 かかりつけ歯科医の有無 かかりつけ薬局の有無

D 介護保険サービスの利用状況と利用意向	介護保険サービスの利用状況と満足度を探り、サービス水準の見直しと利用促進策に役立てる	問 11 問 12 問 13 問 14 問 15 問 16 問 17 問 18 問 19 問 20	保険料段階 介護保険サービスと保険料についての考え方 介護保険の利用料 利用限度額の状況（付問：限度額を超過する理由・限度額まで利用しない理由） 在宅サービスの利用状況 介護保険サービスの利用意向 介護予防策への要望 地域密着型サービスに対する考え方 介護を受けたい場所 介護保険制度の改善策
E 利用者主体のサービスのあり方	利用者主体のサービス提供を進めるため、ケアマネジャーや事業者との関係の実態を探る。並行して行う事業者調査と対比することも考えられる	問 21 問 22 問 23 問 24 問 25 問 26	ケアプラン作成事業者の選定理由 ケアプランに対する満足度（付問：不満の内容） ケアマネジャーの対応についての評価 ケアマネジャーに対する満足度 介護サービス事業者を選ぶ際に重視すること 不平や不満を言うことができる環境の有無（付問：不満や苦情を言えない理由）
F 介護保険サービスの満足度	介護保険サービスを利用している者の満足度を探る	問 27 問 28	サービスの満足度、不満がない理由 サービス利用後の変化（付問：変化がない理由）
G 高齢者の権利擁護	利用者の立場に合った施策を展開するための参考とする	問 29 問 30 問 31	権利擁護制度の周知状況 相談窓口の周知状況 周囲で困っている人の有無（付問：困っている人、事例）
H 保健福祉サービス	保健福祉サービスの利用状況と意向を探る	問 32	保健福祉サービスの利用状況・利用意向
I 要望	市への要望をたずねる	問 33	市への要望＜自由意見＞

◆家族へのご質問

J 家族介護への支援のあり方	家族介護者のプロフィールや介護の問題を探り、介護者の生活の質の向上に役立てる	問 34 問 35 問 36 問 37 問 38 問 39 問 40 問 41	主な介護者 介護者の年齢 介護者の就労状況（付問：就労形態） 介護期間 介護時間 認知症の症状 介護の問題点 今後の生活の場所
-------------------	----------------------------------------	--------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------

3 介護保険施設サービス利用者調査

① 調査の目的

介護保険施設サービス利用者に対し、サービスの利用状況と利用意向を探り、サービス水準の目標設定やコストの適正化に関する検討を行います。

② 調査対象

介護保険施設サービス利用者 500人

平成17年3月現在で施設サービスを受けている方から無作為抽出

③ 調査方法

アンケート調査・郵送法（施設または本人へ郵送、本人記入もしくは施設職員による聞き取り後、郵送回収）（督促礼状1回送付）

④ 調査期間

平成17年6月1日～6月16日

⑤ 調査結果

回収数 359件（回収率 71.8%）、有効回収数 341件（有効回収率 68.2%）

⑥ 調査項目

大項目	ねらい	問番号	設問（案）
A 基本属性	分析の軸となる本人・家族の基本的属性をたずねる	F1～ F6	入所施設／回答不能理由 記入者／性別／年齢／入院・入所期間／家族構成 (付問：同居者の年齢、配偶者の年齢)／要介護度
B 身体状況	日常生活動作等の状態をたずね、要介護高齢者（施設）の実態を把握する	問1 問2 問3 問4 問5 問6	日常生活動作 健康状態（付問：寝たきりの期間） 病歴 医療処置 咀嚼の程度 口腔ケア指導の有無
C 介護保険制度に関する考え方	介護保険の見直しに際し、居住費の徴収などに関する意見などをたずね、今後の施策の参考とする	問7 問8 問9 問10 問11 問12	保険料段階 介護保険サービスと保険料についての考え方 施設利用料の費用についての負担感 その他の費用についての負担感 居住費徴収についての考え方 介護保険制度の改善策
D 施設での生活・サービスについて	施設でのサービスの状況や満足度などをたずね、サービスの質の向上に向けた資料として役立つ	問13 問14 問15 問16 問17 問18 問19 問20	入所・入院している部屋の定員（付問：個室の希望） 入所時の重要事項の説明に対する評価 入所時のわかりやすい説明に対する評価 サービスに対する提案の有無 サービス利用後の変化 サービスの満足度、不満な理由 プライバシーへの配慮 身体拘束に関する現状
E 要望	利用者の立場にたった施策を展開するための参考とする	問21 問22	今後希望する介護（付問：希望する別の施設、帰宅先、帰宅にあたっての問題点） 市への要望〈自由意見〉
F 心身の状況	分析の基礎データとする	問23 問24 問25	健康状態 認知症（痴呆）の有無（付問：症状） 今後の生活の場所

4 介護保険サービス未利用者調査

① 調査の目的

介護保険サービス未利用者に対し、未利用であった理由と、今後の意向について探り、サービス需要の適正化を図ります。

② 調査対象

介護保険サービス未利用者 500人

平成17年3月現在の要支援・要介護認定者のうち、介護保険サービスを利用していない方から無作為抽出

③ 調査方法

アンケート調査・郵送法（督促礼状1回送付）

④ 調査期間

平成17年6月1日～6月16日

⑤ 調査結果

回収数 380件（回収率 76.0%）、有効回収数 379件（有効回収率 75.8%）

⑥ 調査項目

大項目	ねらい	問番号	設問（案）
A 基本属性	分析の軸となる本人・家族の基本的属性をたずねる	F1～ F8	現在の居場所／記入者／性別／年齢／家族構成 （付問：同居者の年齢、配偶者の年齢）／居住地域 住宅／要介護度
B 健康状態・ 健康づくり	健康状態・健康づくりへの取り組みを探るとともに、今後必要な介護予防施策を講じるための参考とする	問1 問2 問3 問4 問5 問6 問7 問8 問9 問10	日常生活動作 健康状態（付問：寝たきりの期間） 健康づくりへの意識（付問：実行していること） 食事 咀嚼の程度 医療機関の受診状況（付問：医療機関数、診療科） 病歴 かかりつけ医の有無 かかりつけ歯科医の有無 かかりつけ薬局の有無
C 日常生活・ 生きがい活動	社会参加や自己実現の現状と意向を探り、今後の高齢者施策の可能性について探る	問11 問12	外出の状況 生きがい活動の現状と意向
D 介護保険 サービスを利用しない 理由	介護保険サービスのニーズや利用しない理由を探り、サービス水準の見直しと利用の促進に役立てる	問13 問14 問15 問16 問17	要介護認定の申請者 現在介護を受けている方法（付問：利用サービス） 在宅生活の問題点 サービスを利用しない理由 介護を受けたい場所
E 介護保険 サービス	介護保険サービスのニーズを探り、サービス水準の見直しに役立てる	問18 問19 問20	保険料段階 介護保険サービスと保険料についての考え方 介護保険制度の改善策
F 保健福祉 サービス	保健福祉サービスの利用状況をたずね、ニーズを探る	問21 問22 問23	保健福祉サービスの利用状況・利用意向 地域密着型サービスに対する考え方 市が優先的に取り組むべき保健福祉サービス

G 高齢者の権利擁護	利用者の立場にたった施策を展開するための参考とする	問 24 問 25 問 26	権利擁護制度の周知状況 相談窓口の周知状況 周囲で困っている人の有無（付問：困っている人、事例）
H 要望	市への要望をたずねる	問 27	市への要望＜自由意見＞

◆家族へのご質問

I 家族介護への支援のあり方	家族介護者のプロフィールや介護負担の実態を探り、介護者の生活の質の向上に役立てる	問 28 問 29 問 30 問 31 問 32 問 33 問 34 問 35	主な介護者 介護者の年齢 介護者の就労状況(付問：就労形態) 介護期間 介護時間 認知症（痴呆）の症状 介護の問題点 今後の生活の場所
-------------------	------------------------------------------	--------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------

5 市民意識調査（20歳以上 65歳未満）

① 調査の目的

市内に居住する20歳以上の市民を対象に、高齢者介護や介護保険に対する意識、制度見直しに対する知識などを把握するほか、日頃からの健康づくりの実践、地域コミュニティへの係わり方もたずね、介護保険のまちづくりに向けた課題と方向などを探ります。

② 調査対象

市内に居住する20歳以上65歳未満の市民（要支援・要介護認定者を除く） 1,500人
平成17年5月20日現在で住民基本台帳から無作為抽出

③ 調査方法

アンケート調査・郵送法（督促礼状1回送付）

④ 調査期間

平成17年6月1日～6月16日

⑤ 調査結果

回収数 717件（回収率 47.8%）、有効回収数 717件（有効回収率 47.8%）

⑥ 調査項目

大項目	ねらい	問番号	設問（案）
A 基本属性	分析の軸となる本人・家族の基本的属性をたずねる	F1～ F10	性別／年齢／家族構成（付問：世帯人数） 既婚・未婚／高齢者との同居の有無／介護経験の有無 職業／収入／居住地域／住宅／
B 健康状態・健康づくり	健康や介護に関する意識や現状についてたずねる	問 1 問 2 問 3 問 4 問 5 問 6 問 7	健康状態 医療機関の受診状況（付問：病名、医療機関） かかりつけ医の有無 かかりつけ歯科医の有無 かかりつけ薬局の有無 健康診査の受診状況（付問：場所、検査結果、受けなかった理由） 健康づくりについての意識(付問：実行していること)

C 生活習慣	生活習慣についてたすね、介護予防の参考とする	問 8 問 9 問 10 問 11 問 12 問 13	食生活 運動 適正体重 喫煙（付問：節煙意向） 飲酒（付問：節酒意向） 歯磨き
D 福祉に関する意識と実践活動	福祉に関する考え方と地域活動についてたすねる	問 14 問 15	福祉における住民参加の考え方 地域活動の参加状況・参加意向
E 介護保険サービス	円滑なサービス利用に向けて、制度の見直しについてたすね、制度の周知と理解の促進を検証する	問 16 問 17 問 18 問 19	介護保険のしくみについての周知状況 介護保険サービスと保険料についての考え方 介護を受けたい場所 介護保険制度の改善策
F 情報や相談	市の施策の方向を考えるための資料とする	問 20 問 21 問 22 問 23 問 24 問 25 問 26	市のホームページの閲覧状況 健康や介護についての情報入手源 介護や福祉サービスについての相談先 医療や保健についての相談先 権利擁護制度の周知状況 相談窓口の周知状況 周囲で困っている人の有無（付問：困っている人、事例）
G 要望	市への要望をたすねる	問 27	市への要望＜自由意見＞

6 居宅介護支援事業者調査

① 調査のねらい

府中市民を対象に居宅介護支援を行う事業所の状況から、運営状況と今後の方向をたすね、今後の支援策の参考とします。

② 調査対象

府中市の要支援・要介護認定者のケアプランを作成する居宅介護支援事業者 45 事業所

③ 調査方法

アンケート調査・郵送法（督促礼状1回）

④ 調査期間

平成 17 年6月1日～6月16日

⑤ 調査結果

回収数 40 件（回収率 88.9%）、有効回収数 40 件（有効回収率 88.9%）

⑥ 調査項目

大項目	ねらい	問番号	設問(案)
A 事業所プロフィール	分析の軸となる事業所の基本的属性をたずねる	問 1 問 2	法人名・事業所名・所在地等 活動状況(組織形態/併設事業所/スタッフ人数 資格の状況)
B 事業概要	利用者主体のサービス提供を進めるため、事業者の質の向上に対する取組みを探る	問 3 問 4 問 5 問 6 問 7	ケアプラン給付管理件数 府中市で活動するケアマネジャーの人数 ケアプランの作成方法 ケアプラン作成の参加者 (サービス併設事業所に)事業所内で対応した割合
C 質の向上への取組み	利用者主体のサービス提供を進めるため、事業者の質の向上に対する取組みを探る	問 8 問 9 問 10	質の向上に対する取組み 第三者評価の実施予定(付問:実施しない理由) 研修について
D ケアマネジメント	困難事例の傾向を探り、包括的継続的マネジメントのあり方を考える資料とする	問 11 問 12 問 13 問 14	ケアプラン作成が困難だった程度 ケアプラン作成が困難だったケース 困難だったケースの相談先 具体的な困難事例<自由意見>
E 介護保険制度への要望	介護保険制度の見直しに対する考え方を探る	問 15 問 16 問 17 問 18	介護保険制度見直しについて知りたいこと 介護予防マネジメントについての考え方 小規模多機能拠点についての考え方 新予防給付についての考え方
F 今後の事業運営	事業運営の見込みや問題点をたずね、今後の方向性を探る	問 19 問 20 問 21	平成 16 年度の採算 今後の事業拡大予定 事業エリア
G 要望	今後の介護保険制度運営への要望をたずねる	問 22 問 23 問 24	保険者としての府中市に望むこと 介護保険制度の改善策 介護保険に関する要望<自由意見>

II 調査結果の概要

1 健康づくり・介護予防

(1) 健康状態（一般・問2、居宅・問2、施設・問2、未利用者・問2、市民意識・問1）

【調査結果】

一般：「健康である（43.0%）」、「病気等あるが日常生活、外出はできる（50.0%）」

居宅：「生活はできるが外出はできない（41.0%）」、「病気等あるが日常生活、外出はできる（23.4%）」

施設：「手助けが必要、主にベッド上の生活（31.7%）」、「手助けが必要、一日中寝たきり（30.2%）」

未利用者：「病気等あるが日常生活、外出はできる（41.7%）」、「生活はできるが外出はできない（29.3%）」

市民意識：「健康である（42.0%）」、「まあ健康である（38.4%）」

※市民意識は上記調査と選択肢が異なる

一般高齢者は9割以上が『自立』（「健康である」と「病気等あるが日常生活、外出はできる」の計）しており、サービス未利用者→居宅サービス利用者→施設サービス利用者になるに従い健康状態が悪くなる。

市民意識では『健康』の割合が8割となっている。

(2) かかりつけ医・歯科医・薬局の有無

（一般・問5～7、居宅・問8～10、未利用者・問8～10、市民意識・問3～5）

① かかりつけ医

【調査結果】

一般：「いる（69.6%）」、「いない（24.3%）」

居宅：「いる（82.1%）」、「いない（12.6%）」

未利用者：「いる（74.9%）」、「いない（13.5%）」

市民意識：「いる（28.0%）」、「いない（65.0%）」

居宅サービス利用者は、かかりつけ医が「いる」割合が8割以上と高く、サービス未利用者、一般高齢者も「いる」割合が多くなっている。一方、市民意識では「いない」という回答が6割以上を占めている。

② かかりつけ歯科医

【調査結果】

一般：「いる（66.5%）」、「いない（25.6%）」
居宅：「いる（51.8%）」、「いない（37.9%）」
未利用者：「いる（51.7%）」、「いない（33.8%）」
市民意識：「いる（39.9%）」、「いない（54.1%）」

市民意識では、かかりつけ歯科医が「いない」という回答が半数を超えている。その他の調査では「いる」が半数を超えているが、かかりつけ医に比べてかかりつけ歯科医がいる割合は低くなっている。

③ かかりつけ薬局

【調査結果】

一般：「ある（46.0%）」、「ない（45.1%）」
居宅：「ある（59.7%）」、「ない（30.3%）」
未利用者：「ある（56.5%）」、「ない（29.8%）」
市民意識：「ある（16.3%）」、「ない（77.0%）」

市民意識では、かかりつけ薬局が「ない」割合が8割近くと多い。その他の調査では「ある」が「ない」を上回っているが、一般高齢者では「ある」と「ない」の差はわずかである。

(3) いきいきプラザでの介護予防プログラムへの参加意向（一般・問12）

一般高齢者にいきいきプラザでの介護予防事業に参加したいかをたずねたところ、「わからない（49.4%）」が約半数を占めている。次いで「参加したい（30.6%）」が3割で続いている。

(4) 「おたっしゃ21」の受診意向（一般・問13）

一般高齢者に「おたっしゃ21」という介護予防健診を受診したいかをたずねたところ、「受診したい（42.7%）」が4割を超え多く、「わからない（35.2%）」が続いている。

(5) 介護予防策への要望（一般・問14、居宅・問17）

【調査結果】

一般：「筋力向上トレーニング教室（34.8%）」、「認知症の発生を遅らせる脳活性教室（31.3%）」、「特にない（29.2%）」

居宅：「筋力向上トレーニング教室（33.2%）」、「転倒予防教室（30.4%）」、「認知症の発生を遅らせる脳活性教室（27.4%）」

介護予防で市に優先的に取組んでほしい事業については、一般高齢者、居宅サービス利用者ともに「筋力向上トレーニング教室」が最も多くなっている。次いで、一般高齢者では「認知症の発生を遅らせる脳活性教室」、居宅サービス利用者では「転倒予防教室」、「認知症の発生を遅らせる脳活性教室」が続く。

（6）新予防給付についての考え方（事業所・問18）

① 筋力向上・転倒予防のためのサービス

【調査結果】

「興味があり、参入したい（25.0%）」、「興味があるが、参入は今後検討したい（42.5%）」、「興味はあるが、参入するつもりはない（15.0%）」

② 栄養改善のためのサービス

【調査結果】

「興味があり、参入したい（17.5%）」、「興味があるが、参入は今後検討したい（45.0%）」、「興味はあるが、参入するつもりはない（12.5%）」

③ 口腔機能向上のためのサービス

【調査結果】

「興味があり、参入したい（20.0%）」、「興味があるが、参入は今後検討したい（40.0%）」、「興味はあるが、参入するつもりはない（15.0%）」

居宅介護支援事業者に新予防給付サービスについての関心をたずねた。いずれのサービスにおいても、「興味があるが、参入は今後検討したい」が4割台で「興味があり、参入したい」とあわせると、『参入意向あり』の割合は6割台となる。筋力向上・転倒予防のためのサービス参入意向が最も高く67.5%となっている。

2 地域密着型サービス

(1) 地域密着型サービスに対する考え方 (居宅・問 18、未利用者・問 22)

【調査結果】

居宅：「小規模多機能型の居宅介護(18.2%)」、「定員 30 人未満の特別養護老人ホーム(10.7%)」、「夜間対応型訪問介護 (7.4%)」、「わからない (28.0%)」

未利用者：「小規模多機能型の居宅介護 (12.9%)」、「定員 30 人未満の特別養護老人ホーム (9.0%)」、「夜間対応型訪問介護 (5.3%)」、「わからない (31.4%)」

地域密着型サービスで重要だと思うサービスをたずねたところ、居宅サービス利用者、サービス未利用者ともに「小規模多機能型の居宅介護」、「定員 30 人未満の特別養護老人ホーム」、「夜間対応型訪問介護」の順に多くなっている。なお、「わからない」は3割前後である。

(2) 小規模多機能拠点についての考え方 (事業所・問 17)

居宅介護支援事業者の小規模多機能拠点への関心をたずねたところ、「興味があるが、参入は今後検討したい (52.5%)」が半数以上を占めている。「興味があり、参入したい (12.5%)」とあわせると事業者の 65.0%が参入意向をもっている。

3 利用者の負担感

(1) 介護保険サービスと保険料についての考え方

(一般・問 23、居宅・問 12、施設・問 8、未利用者・問 19、市民意識・問 17)

【調査結果】

一般：「どちらともいえない (27.6%)」、「今くらいが妥当 (24.0%)」、「サービスを抑えても保険料が低い方がよい (18.2%)」

居宅：「今くらいが妥当 (47.0%)」、「どちらともいえない (22.5%)」、「保険料が高くなってもサービスが充実している方がよい (13.8%)」

施設：「どちらともいえない (36.7%)」、「今くらいが妥当 (31.4%)」、「保険料が高くなってもサービスが充実している方がよい (12.0%)」

未利用者：「どちらともいえない (38.5%)」、「今くらいが妥当 (23.0%)」、「サービスを抑えても保険料が低い方がよい (13.5%)」

市民意識：「どちらともいえない (46.7%)」、「今くらいが妥当 (20.2%)」、「保険料が高くなってもサービスが充実している方がよい (18.1%)」

介護保険サービスの提供量を拡大・充実すると保険料は高くなることをふまえ、介護保険サービスと保険料についての考え方をたずねた。一般高齢者、施設サービス利用者、サービス未利用者、市民意識では「どちらともいえない」が最も多く、次いで「今くらいが妥当」となっている。居宅サービス利用者では、「今くらいが妥当」が5割近くで最も多くなっている。

(2) 施設利用料の費用についての負担感 (施設・問9)

施設を利用する際の費用負担(施設利用料月額に応じた利用料負担)については、「わからない(27.6%)」と「これくらいはやむをえない(26.1%)」がほぼ同率で、「概ね妥当な額だと思う(17.0%)」が続いている。

(3) その他の費用についての負担感 (施設・問10)

施設利用料以外の食事代、日常生活費の負担については、「わからない(28.2%)」が最も多く、次いで「概ね妥当な額だと思う(22.3%)」、「これくらいはやむをえない(19.1%)」となっている。

(4) 居住費徴収についての考え方 (施設・問11)

施設サービス入所者から新たに光熱水費などの居住費と食費を徴収することについては、「何ともいえない(36.1%)」が最も多く、「これ以上の負担は苦しい(26.4%)」、「ある程度はやむをえない(18.2%)」が続いている。

4 介護者の状況

(1) 主な介護者 (居宅・問34、未利用者・問28)

【調査結果】

居宅：「配偶者(23.6%)」、「娘(15.2%)」、「娘・息子の配偶者(9.8%)」

未利用者：「配偶者(22.7%)」、「娘(11.9%)」、「娘・息子の配偶者(4.7%)」

あて名ご本人の主な介護者については、居宅サービス利用者、サービス未利用者ともに「配偶者」が最も多く、「娘」、「娘・息子の配偶者」が続いている。

(2) 介護者の年齢 (居宅・問 35、未利用者・問 29)

【調査結果】

居宅：「50 歳代 (17.1%)」、「70 歳代 (14.3%)」、「60 歳～64 歳 (11.0%)」、「65 歳～69 歳 (7.3%)」

未利用者：「70 歳代 (13.7%)」、「50 歳代 (13.2%)」、「60 歳～64 歳 (8.2%)」

介護者の年齢は、居宅サービス利用者では「50 歳代」が最も多く、サービス未利用者では「70 歳代」が最も多くなっている。

(3) 介護の問題点 (居宅・問 40、未利用者・問 34)

【調査結果】

居宅：「精神的に疲れ、ストレスがたまる (43.5%)」、「介護がいつまで続くのかわからない (34.6%)」、「肉体的に疲れる (33.2%)」

未利用者：「精神的に疲れ、ストレスがたまる (32.7%)」、「介護がいつまで続くのかわからない (22.4%)」、「肉体的に疲れる (21.6%)」

介護をしていくうえでの問題点についてたずねたところ、居宅サービス利用者、サービス未利用者ともに上位3位は同様に「精神的に疲れ、ストレスがたまる」、「介護がいつまで続くのかわからない」、「肉体的に疲れる」があげられている。

5 理想の介護形態

(1) 介護を受けたい場所

(一般・問 26、居宅・問 19、施設・問 21、未利用者・問 17、市民意識・問 18)

【調査結果】

一般：「在宅サービスを受けながら自宅で生活したい (25.1%)」、「家族等の介護を受けながら自宅で生活したい (23.8%)」、「特別養護老人ホーム等の施設に入所したい (10.2%)」

居宅：「在宅サービスを受けながら自宅で生活したい (32.8%)」、「家族等の介護を受けながら自宅で生活したい (25.9%)」、「自宅近くの小さな施設等を利用しながら生活したい (8.6%)」

施設：「現在の施設での生活を続けたい (54.0%)」、「わからない (15.8%)」

未利用者：「家族等の介護を受けながら自宅で生活したい (33.2%)」、「在宅サービスを受けながら自宅で生活したい (25.6%)」

市民意識：「在宅サービスを受けながら自宅で生活したい (25.1%)」、「自宅近くの小さな施設等を利用しながら生活したい (17.9%)」、「家族等の介護を受けながら自宅で生活したい (16.2%)」

介護が必要になったとき、どこで生活したいかをたずねたところ、一般高齢者、居宅サービス利用者、市民意識では「在宅サービスを受けながら自宅で生活したい」が最も多く、サービス未利用者では「家族等の介護を受けながら自宅で生活したい」が最も多くなっている。これら4調査では『在宅』（「家族等の介護で自宅」と「在宅サービスで自宅」の計）を希望する割合が合わせて4～5割台と高い。一方、施設サービス利用者では半数以上が「現在の施設での生活を続けたい」と回答している。

6 認知症高齢者の状況

(1) 認知症の症状（居宅・問39、未利用者・問33）

① 慣れた道や場所がわからなくなること

【調査結果】

居宅：「ひんぱんにある（8.1%）」、「ときどきある（14.6%）」、「まったくない（34.8%）」
未利用者：「ひんぱんにある（4.0%）」、「ときどきある（11.3%）」、「まったくない（32.2%）」

② 薬を飲む時間や、飲む量を間違えること

【調査結果】

居宅：「ひんぱんにある（11.2%）」、「ときどきある（17.8%）」、「まったくない（28.9%）」
未利用者：「ひんぱんにある（6.1%）」、「ときどきある（12.9%）」、「まったくない（29.0%）」

③ 火の始末や火元の管理ができなくなること

【調査結果】

居宅：「ひんぱんにある（9.9%）」、「ときどきある（13.4%）」、「まったくない（32.2%）」
未利用者：「ひんぱんにある（4.7%）」、「ときどきある（9.8%）」、「まったくない（31.1%）」

日常生活における認知症の症状をたずねたところ、①～③までの項目については、居宅サービス利用者、サービス未利用者ともに「まったくない」が3割前後で最も多い。認知症の症状が『ある』（「ひんぱんにある」と「ときどきある」の計）割合をみると、居宅サービス利用者は2割台、サービス未利用者は1割台となっている。

(2) 認知症の有無（施設・問24）

施設サービス利用者では、医師により「認知症」と診断されたことが「ある（59.2%）」人が6割、「ない（30.2%）」人が3割となっている。